

ページ	質問議員	質問事項
13	中原敦子	●在宅介護者に対する支援の充実を ●伊奈町フィルムコミッションについて
14	奥田とみ子	●がん対策加速化プランの取り組み ●地域包括ケアシステムの構築を図るには ●犬猫の殺処分ゼロを目指して
14	大沢 淳	●地域から「ブラック企業」をなくし青年の雇用対策を推進 ●地域経済再生と小規模企業振興基本法 ●子どもの貧困と食生活 ●南保育所の老朽化対策 ●小中学校の大規模改修とトイレの改修
15	上野尚徳	●伊奈町の産業振興について ●伊奈町の消防について ●町立小中学校のエアコン設置後について ●選挙権年齢の引き下げについて
15	水上邦雄	●少人数学級の実現と全校、全学年で3クラス以上実現の可能性は ●介護を必要とする人が使える介護保険制度を ●公契約条例の制定で、適正な労働条件、適正な公共サービスの確保を ●管理不十分な家屋の実態調査と解消に向けた取組を ●空き家の有効活用で地域の活性化を
16	上野克也	●文化芸術の振興と伝統文化の継承 ●生涯にわたる学びの支援とスポーツの推進 ●地域特性を活かした都市農業の振興 ●伊奈町総合振興計画 開かれた町政と経営的視点に立った行政運営 ●投票率の向上へ ●3.11発災から5年を迎えるが、災害時の通信手段の確保 ●新幹線高架下の有効活用
16	栗原恵子	●2025年問題について ●高齢者対策について ●子育て支援について ●投票率について
17	藤原義春	●伊奈町の観光客を増やすことについて
17	戸張光枝	●すべてのこどもの豊かな創造力を引き出す後押しを
18	五味雅美	●女性活躍推進法の実現について ●町職員の有給休暇取得促進について ●暴力・暴言を許さない町づくり



10人が登壇

3月定例議会は、10人の議員が一般質問を行いました。質疑応答の要旨は質問した議員が要約したものです。なお会議中の発言と答弁は、伊奈町議会ホームページおよび図書館に備えてある会議録でご覧になれます。

(5月下旬掲載)



家族介護者支援にピアサポートを



なかはらあつこ
中原敦子 議員

在宅介護者に対する支援の充実を

問 家族介護者の支援にピアサポートを導入して介護者の心のケアを。

答 高齢者の介護者については、「介護者学習交流会」で、体験や心配事を話し合う時間を設けている。介護者同士が支え合う仕組みとなるよう引き続き事業を実施していきたい。

問 「介護者学習交流会」への参加者を増やすための対策が必要ではないか。

答 現在は「社協だより」に情報を掲示して募集している。また、民生委員からも案内をしていただいたい。今後は、ケアマネジャーによるご案内や、ホームページなど

を通じて周知していくことも検討していきたい。

問 障がい者を介護する方達に「介護者学習交流会」のような支援の場を提供することはできないか。

答 障がい者を介護している方は多数おられるので、心配事や体験などを

話し合う場や仕組みづくりについて、研究していく。

※ピアサポート

ピアとは、同等の、対等の、仲間という意味で、「ピアサポート」とは、同じような境遇や、よく似た体験をもつ者同士が、年齢や経歴に関係なく、お互いに支えあうという意味。



「伊奈町フィルム・コミッション」について質問しました
伊奈町の誇れる景観が、多くの映像に使われることを期待します

がん対策加速化プランを推進するには



おくだ
奥田とみ子 議員

問 伊奈町のがん検診受診率は、県の中でどの位置にあるのか。

答 胃がん4.7%48位、肺がん2.6%63位、大腸がん29%19位、子宮頸がん34.1%28位、乳がん29.8%39位

やコール・リコールをずる考えは。

答 従来行っている周知に努め、無料クーポン対象者へ受診勧奨通知をし、40歳の人全員にも各種がん検診の通知をしている。最も低い胃がん検診では、血液検査で胃がんのリスクがわかるペプシノゲン検査を導入し、4.7%から



我が家の愛猫“きり太”シェルターから来て2年。やっと慣れてくれるまでになりました。

※コール・リコール

未受診者への個別勧奨と再勧奨を行う制度

16.9%に受診率が上昇。今後とも積極的に受診できる事業を展開していく。コール・リコールは考えていない。

地域包括ケアシステムを構築していくには

問 このシステムは、現在介護予防と日常生活支援を総合事業へ移行している。検討している事業内容と資源の確保は。

答 生活支援サービスを検討する協議会とコーディネートーターを早期に配置し、支援センターの機能を充実強化していく。

犬猫の殺処分をゼロに!!

問 野良猫増加防止の活動を、個人が去勢・不妊手術を負担している。助成していく考えは。

答 近隣をみて研究する。

小中学校トイレの改修



おおさわ
大沢 淳 議員

問 小中学校の大規模改修の実績は。

答 耐震補強工事を最優先に取り組んできた。現在屋上防水・外壁改修工事を実施している。

問 トイレの改修を早急に。

答 屋上防水・外壁改修工事終了後、児童生徒がトイレを利用しやすいように順次実施する。

地域経済再生

問 町内の中小零細事業所の現況は。

答 全体の事業所数は増加しているものの、小規模事業所数は減少



松伏町の学校のトイレ

している。事業主の高齢化や後継者不足が一因となっている。

問 住宅リフォーム助成制度の拡充を。

答 平成27年度は40名の方に1万円のお買い物券を助成した。新たに自動車整備業も対象に5千円

を80名に助成した。

南保育所の老朽化対策

問 老朽化の度合いは。

答 必要な維持補修を実施し、保育所運営に支障はない。引き続き適切な維持管理を実施したい。

問 今後、民営化ではなく、町で建て替えて、町営として存続させること。

答 将来的には建て替えが必要になる。保育需要、社会状況も考慮し検討したい。

子どもの貧困と食生活

問 広がる子ども食堂の役割は。

答 食事が不十分な子どもに対する食の量的・質的支援であり、交友関係が広がることも考えられる。

伊奈町を元気に！
地方創生・交付金の活用を



うえの なおのり
上野尚徳 議員

問 プレミアム付き商品券の町内での経済効果は。

消費喚起となったのか。

答 換金額は1億9千6百22万7千円。商品券の購入をきっかけに町内で買い物をする。消費喚起につながったと認識。購入者、地元商店、双方に大きな効果があったと考える。地域経済の活性化

に繋がったと認識。

伊奈・上尾、双方の消防力が向上する広域化は理想だが、町単独でも維持向上できる方法も検討を

問 広域化でなく、町単独で消防業務を運営する場合の消防費、北部の消防分署や人材確保の課題解消等を検討しているか。

答 救急需要は右肩上が



「ニューシャトル沿線交流人口活性化事業」地方創生加速化交付金事業

り。職員体制の充実、救急車両の増車が必要。早期に北部をカバーする消防分署を整理することが必要と想定している。これまでのような近隣との応援体制は期待できない。広域化の協議を進めながらも、単独での消防力の充実強化も検討を進める。

学校のエアコン。利用方法を研究し有効活用を

問 エアコン設置の効果

答 学習環境、健康（熱中症やストロークでのやけど等の心配）の両面から大きな効果が得られていると認識。

若年層の政治参加へ向け

問 選挙年齢の引き下げ

町の対応は。

答 新聞折込等での選挙啓発。学校等とも連携。

空き地・空き家の有効活用で地域の活性化を



みづかみくにお
水上邦雄 議員

問 実態調査と子育て世代の受け入れを。

答 実態調査は必要と認識している。

住宅政策面、防犯面、環境面等、多岐にわたる対策が必要。関係課で連携し町の実情に合った対策を講じていく。

少人数学級について

問 少人数学級の優位性

についての認識は。

答 個に応じたきめ細やかな指導を行うことができるなどの効果があると認識している。

問 全校、全学年で3クラス以上の可能性と新年度学級編成の予測は。

答 南小3年生77人、南中3年生75人で2学級。

問 35人程度の学級の実



南小3年生77人 35人程度で3クラスに

現を。

答 町独自での少人数学級の推進は難しい。

介護を必要とする人が使える介護保険制度を

問 在宅介護と看取り可能な体制整備を。

答 定期巡回・随時対応型訪問介護看護の事業所を指定しており、小規模多機能型居宅介護も、今後指定していく。

公契約条例の制定を

問 オリンピック準備と東日本大震災の復旧工事の遅れで、賃金に見合う「腕の良い労働者」が集まらなくなってきた。賃金下限設定」を持つ公契約条例の制定を。

答 国で公契約法を制定することが適当と考えている。

町制記念公園「あやめ園」付近の整備推進



うえの こくや
上野克也 議員

問 記念公園のあやめ園付近をグラウンドゴルフなども可能な、多目的広場にする整備推進計画は。

答 財政面を考慮し、多目的広場も含めた有効利用方法を検討していく。

災害時の通信手段確保

問 大規模災害時には無線LAN「Wi-Fi」が有効とされる。伊奈町の

答 お囃子は4地区に有



記念公園・あやめ園

防炎拠点への普及状況は。

答 役場庁舎住民課のロビーに設置、公衆電話付近に利用方法を掲示している。町内の避難所及び避難場所については必要性を踏まえ研究していく。

伝統文化の継承と保護

問 地域所有の無形文化財の継承と保護は。

答 お囃子は4地区に有

つつが、現在は大針のみ行っている。その他現存する伝統文化については後世に残すべく継承方法について研究していく。

都市農業の振興

問 農地の有効利用と農業生産環境の整備。

答 農地集約の推進と、農地中間管理制度を有効活用していく。

経営的視点の行政運営

問 計画的な財政運営は。

答 民間資金の活用、アセットマネジメントの策定の準備を進め、中長期的視点で選択と集中を徹底し行政運営を進めていく。

問 新幹線高架下の有効活用は。

答 慎重に検討する必要があると考えている。

ショッピングセンターなどに投票所を



くりはら けんじ
栗原恵子 議員

問 利便性の向上および投票率アップの為に共通投票所を設置すべきでは。

答 様々な要素を検討し有権者の利便性の向上、また費用面を考慮し、適切な対応をする。

シニア層の活躍の場の創出、健康の延伸、医療費の抑制に対する取り組み

問 高齢者の豊富な見識を生かし、活躍の場の提供、これが生きがい、健康延伸・医療費抑制に繋がるが。

答 多様な生活支援サービスについて検討する場として、来年度、生活支援協議会を設置。また、生活支援コーディネーターを平成28年度において



毎日の健康維持に

問 高齢者の豊富な見識を生かし、活躍の場の提供、これが生きがい、健康延伸・医療費抑制に繋がるが。

答 多様な生活支援サービスについて検討する場として、来年度、生活支援協議会を設置。また、生活支援コーディネーターを平成28年度において

地域包括支援センターに設置予定。健康寿命の延伸に係る町の取り組みについては、40歳以上の方を対象に、健康長寿推進事業を実施する予定。

住み慣れた地域で自分らしく楽しく最後まで暮らせるように

問 認知症施策の充実を。

答 医療介護の専門職が認知症の初期状態から包括的に支援する認知症初期集中支援チームを平成29年度中の設置に向け準備を進める予定。この支援チームの設置に先駆けて、認知症高齢者や家族を支援する役割を担う認知症地域支援推進員を福祉課及び地域包括支援センターに設置したところである。

伊奈町の観光客を増やすために！



ふじはらよしはる
藤原義春 議員

川越では657万人の観光客、伊奈町では13万5千人の観光客

問 川越では、観光用に赤いボンネットバスを巡回させ、人気である。伊奈町でも、ボンネットバスか2階立てバスを土日祝日に周遊させ、観光の目玉とすることを提案するが、伊奈町としてどう



川越で成功しているボンネットバス

考えるか。ボンネットバスは、1台約5百万円。現在巡回している「いなる」を観光用に転用することも併せて提案する。

答 バラ園や無線山桜並木は、認知されている観光資源であるが、他にない。伊奈町には観光資源が少なく、観光バスは厳しい。新たな観光資源の

掘り起こしが必要で、伊奈氏屋敷跡等の歴史文化遺産の活用、梨やぶどう、苺やブルーベリーなど農産物の活用も考え、体験交流型イベントも企画しているところだ。「いなる」は、1日当たりの平均乗降者人数は約63人であり、採算は取れてないが、観光への転用も厳しい。

伊奈町に立派なおみやげ館を作っては？

問 立派な伊奈町おみやげ館を作り、伊奈の特産品を売り、喫茶店を併設することを提案するが、伊奈町としてどうか。

答 ウニクス伊奈の「伊奈物産館」とJAあだち野の「四季彩館」で十分と考えている。

こどもの豊かな創造力を引き出す後押しを



とばりみつえ
戸張光枝 議員

ファーストブック事業に
関して

問 子供の脳を育てる方法として、幼少期における読書習慣が重要。文字にも興味を持ち豊かな創造力を養う。当町のブックスタート事業の概要は。

答 絵本を介して心ふれあうひとときを持つきっかけをつくる事業。町で

は乳児健診診査後赤ちゃんと保護者に絵本を一冊贈呈し職員がお手本に絵本の読み聞かせをしている。

問 今後継続していく事業として絵本を保護者選択方式でできないか。

答 今後検討したい。

問 読み聞かせの重要性を推奨する映画「スロー



読書は人を思いやる心を育む

シネマ・じんじん」を町内で上映できないか。

答 心豊かな感性を育むために良質な映画が上映されることは良いことであると認識している。団体等が行う上映事業の名称後援等の支援は可能。

セカンドブック事業の導入は

問 読書は人間の生き方の一側面をとらえることであり、事実を客観視する目が育てば、どう生きれば良いか？何が幸福かといった人生のテーマを見出せ、感性が磨かれ、いじめや暴言をセーブする強い心、人を思いやる心が育まれる。子供自身による選択方式のセカンドブック事業の考えは。

答 検討する必要がある。

暴力を許さず加害者を生み出さない環境を



ごみまさみ
五味雅美 議員

問 暴力はいかなる理由でも許されない最大の人権侵害だ。特に子どもが暴力から受ける影響は甚大で暴力の連鎖を生み出す。指導やしつけでの体罰など暴力容認の風潮を一掃することが重要。いっさいの暴力と暴力を誘引する言動を許さないことで、加害者を生み出さ

ない環境をつくるために職場、学校、家庭あらゆる場と機会で取組むべき。
答 町ホームページや広報などでの啓発、被害者支援、要保護児童の面接・訪問その他関連機関と連携して取組んでいる。
女性活躍推進法
問 4月から法が施行される。国連女性差別撤廃



女性が働ける環境を

条約批准から31年、女性の進出が広がっているが、日本の取組みは世界から大きく遅れ、国連委員会からも厳しく指摘されている。安い労働力としてとか、経済成長のためとか、男性並みに長時間労働をこなせる一部の女性を登用するとかではなく、男女平等と人権の立場から推進するべきだ。町の女性職員登用に目標は。
答 女性管理職や女性職員の活躍の広がり期待したい。
町職員の休暇取得促進を
問 日本全体で取得率が5割を切っている。促進による経済効果も大きい。町は率先して推進を。
答 取得しやすい環境をつくり働きかける。

特別表彰受賞

長年の功労を讃え

本年2月、平成27年度自治功労者表彰式が行われました。その席上、伊奈町議会・山本重幸議長が全国町村議会議長会会長より、特別表彰を受賞されました。



山本重幸 議長

議会を傍聴してみませんか

議会の本会議を傍聴するときは、会議当日に議会事務局窓口で名簿に名前と住所をご記入のうえ傍聴券・資料をお受け取りいただいてから傍聴席にお入りください。

また、委員会の傍聴につきましては、委員長のご許可制になっていますので事前に申し込みが必要です。

なお、本会議・委員会ともに、傍聴席の数には限りがありますので、あらかじめご了承ください。

※次回の定例議会は6月です。